

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

4-II-4

4-II  
-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	バリアフリー機能の導入
	節 II. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	4 バリアフリー機能の導入	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	関連団体	県文化行政課、佐渡地域振興局企画振興部
事業概要	<p>【事業目的】 ○各種施設や説明媒体におけるバリアフリー機能の導入により、様々な来訪者への利便性向上を図る。</p> <p>【事業内容】 ○説明媒体に点字や音声ソフトなどのバリアフリー機能を導入する。</p>		
30事業計画と実績	<p>【30年度計画】 ●平成31年度に策定する史跡整備基本計画において、バリアフリー機能に関わる整備内容を検討する。 ●メインガイダンス施設内に設置する各種サイン等について、点字等の導入を行う。</p> <p>【30年度実績】 ●メインガイダンス施設の屋外に誘導ブロックを設置した。 また、施設内での対応については、職員による誘導や筆談による説明をすることとし、展示室の映像に係る聴覚障がい者への対応として映像の内容がわかる概要の説明文を展示資料として提示することとした。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 ■史跡等の見学ルート上にある説明サインや佐渡市の公共施設等において、どのようなバリアフリー機能が有効か検討する。</p> <p>【今後の取組】 ■史跡整備基本計画の策定作業の中で、山中の遺跡等の見学に伴うバリアフリー機能の導入について検討する。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 ◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [ a ・ b ・ c ]</p> <p>【事業実施の効果】 [ a ・ b ・ c ]</p> <p>【総合評価】 [ A ・ B ・ C ]</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。